

これまで、新南陽民俗資料展示室の老朽化に伴う新施設のコンセプト、資料分類、展示方法、保管について、文化財審議会でご意見をいただきながら方針を固めてきたが、新施設の周南市における位置づけや他の類似施設との関連性、市内に分散する民俗資料の統合や今後の管理の在り方についての整理は十分ではなかった。

再度現状を整理し、今後の望ましい管理の在り方について委員のご意見を伺いたい。

1 市内の展示施設の現状

・新南陽民俗資料展示室

旧新南陽市が実施した民俗調査により収集した資料を平成12年度から旧福川幼稚園を活用して保管、展示。施設の経年劣化に伴う雨漏り等のため、平成28年度から休館。専属職員配置。

・熊毛歴史展示室

旧熊毛町が収集した民俗資料や遺跡出土遺物を展示した熊毛町郷土文化保存伝習施設が前身。平成21年度の熊毛図書館新築移転に伴い、その一角にて歴史分野を重視した熊毛歴史展示室として開館。現在、民俗資料については、旧新南陽市分と統合保管中。専属職員不在。図書館併設施設。

・鹿野民俗資料展示室

旧鹿野町が収集した民俗資料を平成5年度の鹿野図書館新築に伴い、その2階にて展示。その後、鹿野地区の遺跡出土資料や歴史資料を追加展示。現在、民俗資料の一部は遊休施設で保管中。専属職員不在。図書館併設施設。

・（その他関連施設）周南市美術博物館

「美術」「写真」「歴史」の3部門を持つ人文系の博物館。徳山地区を中心に周南市の歴史分野について展示、解説。

2 検討事項について

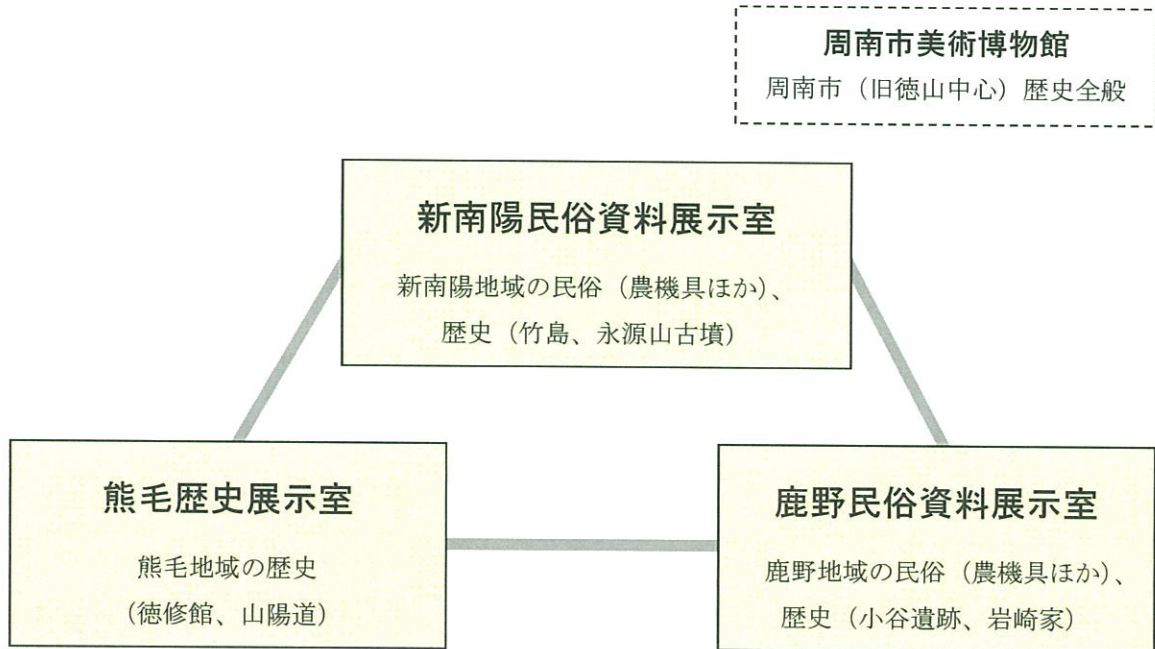
新施設の周南市における位置づけについて（役割、他の類似施設との関わりなど）

3 今後のスケジュール等

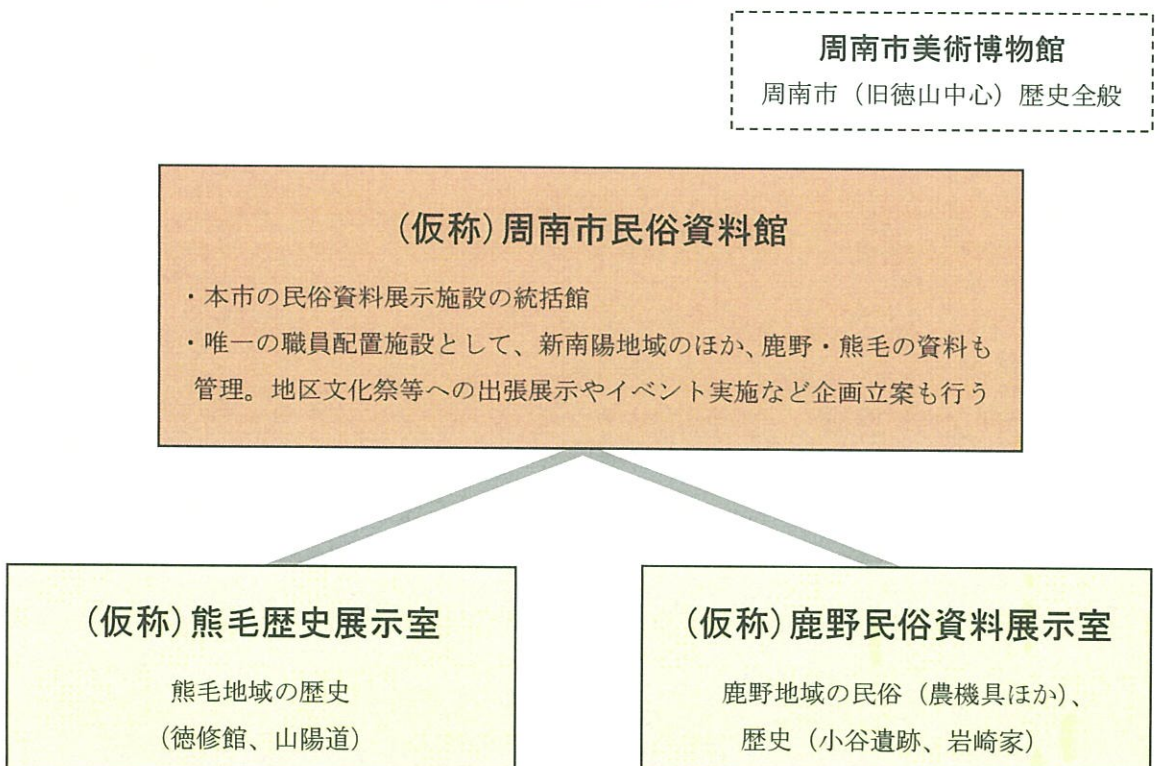
- | | |
|--------|---|
| 12月 | 福川小学校内の仮展示室を閉室（2月に資料等を搬出済）
1階和室の一部についてフローリング化工事を実施（2月に完成済） |
| 3月～ | 資料の移動・展示作業を開始 |
| 6月 | 「周南市民俗資料展示施設条例」改正の議案を提出（予定） |
| 8月 | 開館（予定）。併せて開館記念特別展を開催 |
| 令和5年度内 | 現展示室を解体 |

新施設の周南市における位置づけについて（イメージ図）

【現状】各館が独立（条例上）



【今後】熊毛・鹿野は分館的な位置づけとする。各地域の歴史・文化を伝える資料を展示する施設として引き続き現地に置き、充実を図っていく。



1 対策の経緯

倒木の危険性があるとされた大玉スギについて、令和4年12月、文化庁調査官や南委員、複数の樹木の専門家等にご参加いただき、現地指導と意見交換会を開催した。意見交換会において、大玉スギには「ケーブリング」が最善との助言をいただいたことから、今後、国庫補助事業として対策を実施する予定（4月に交付決定の見込み）。

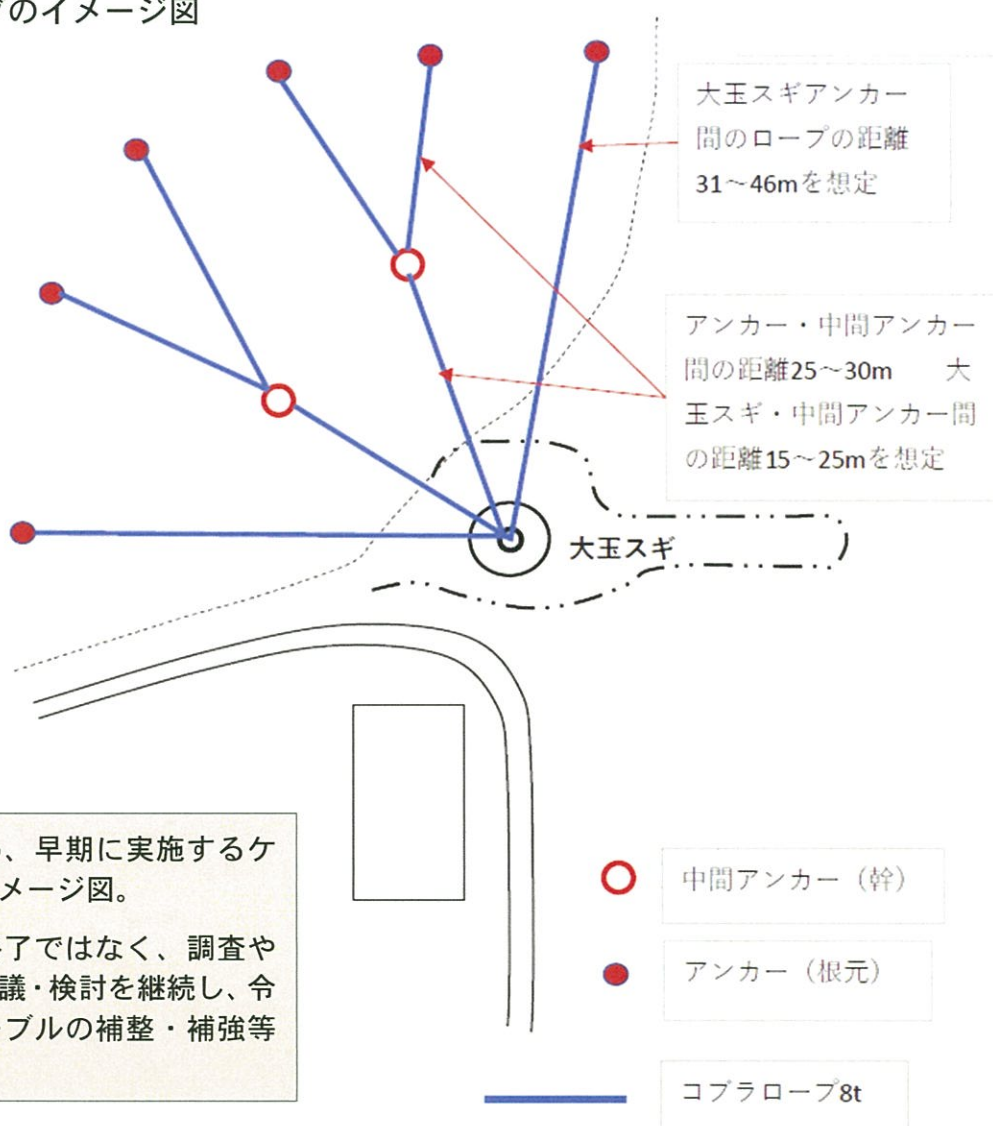
※ケーブリングとは

ポリプロピレン製のコブラロープを当該樹木に取付け、地面や他樹木の根元に結び付けて引く工法。樹木の生長を妨げることなく、強風などの瞬間的な強い負荷にも耐えることができ、万が一倒木した場合でも倒れる方向の調整が可能とされている。

2 事業概要

大玉スギの近隣に民家があることから、まず、緊急の安全対策として早期にケーブリングを行う（令和5年5月を予定）。その後、高所診断により大玉スギの現状を詳細に把握するとともに専門家等から意見を伺い、ケーブルの補整・補強等の必要性について検討を行う。なお、この事業は、令和5・6年度の2年間で実施する予定。

3 ケーブリングのイメージ図



安全対策のため、早期に実施するケーブリングのイメージ図。

対策はこれで終了ではなく、調査や専門家による協議・検討を継続し、令和6年度にケーブルの補整・補強等を行う予定。

1 事業概要

格子出窓が部分的に外れて全体が前傾し、倒れ落ちる可能性があったことから、改修を実施した。格子出窓の付属部分補強及び一部漆喰の補修を実施し、復旧を図った。

2 実施期間 令和4年11月1日～12月16日

3 その他 県文化振興課指導のもと実施

【修理前の状況】



徳修館正面向かって右側の格子出窓



窓の格子が外れている



前傾し、部材の接合部分にすき間ができている



同左

【修理の状況】



1 事業概要

周南市久米で区画整理事業に伴い発見された垣外遺跡の発掘調査報告。平成24年度から平成28年度まで12次におよぶ発掘調査を実施し、平成27年度から順次、報告書を刊行している。

本年度は、第12次調査報告書を刊行予定。ただし、第9次～11次調査報告は未刊であり、令和5年度から順次刊行予定である。

2 第12次調査について

調査期間 平成28年3月30日

～5月13日

時代 弥生時代～中世

主な遺構 祭祀土坑、建物跡、自然流路跡



【第1号土坑出土状況】



【自然流路跡】

